

15. 障害者差別解消法について（問39～問41）

問39 平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、令和3年6月には改正法も公布されていますが、「障害者差別解消法」について聞いたことがありますか。（n=2,259）

（1）全体的傾向

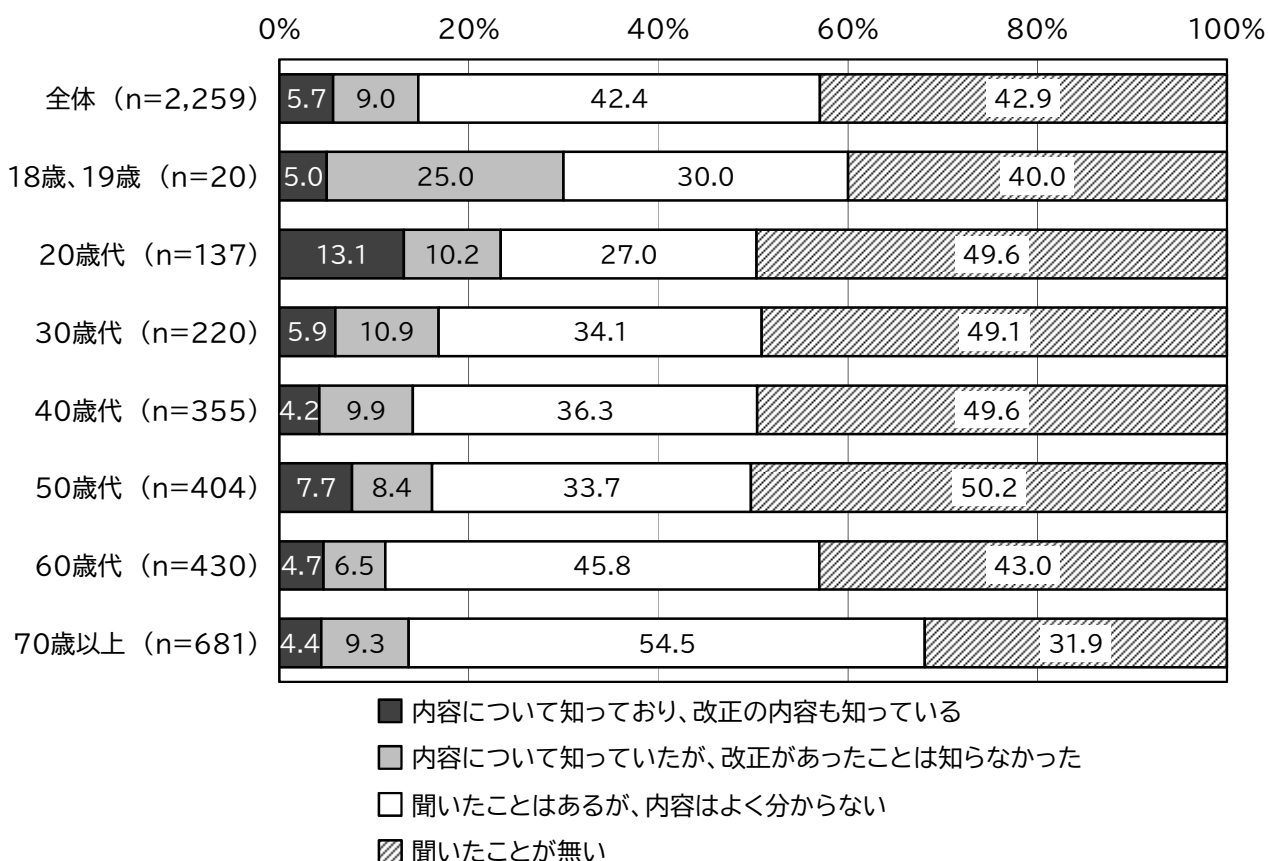
「聞いたことが無い」と回答した人の割合が42.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」（42.4%）、「内容について知っていたが、改正があったことは知らなかった」（9.0%）、「内容について知っており、改正の内容も知っている」（5.7%）となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で「聞いたことが無い」と回答した人の割合が高くなっている。

また、70歳以上は「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」と回答した人の割合が最も高くなっている。

一方、18歳、19歳は「内容について知っていたが、改正があったことは知らなかった」「内容について知っており、改正の内容も知っている」と回答した人を合わせた割合が30.0%と他の年代と比べ高くなっている。



問40 「障害者差別解消法」が施行された7年前と比べて、障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(n=2,250)

(1) 全体的傾向

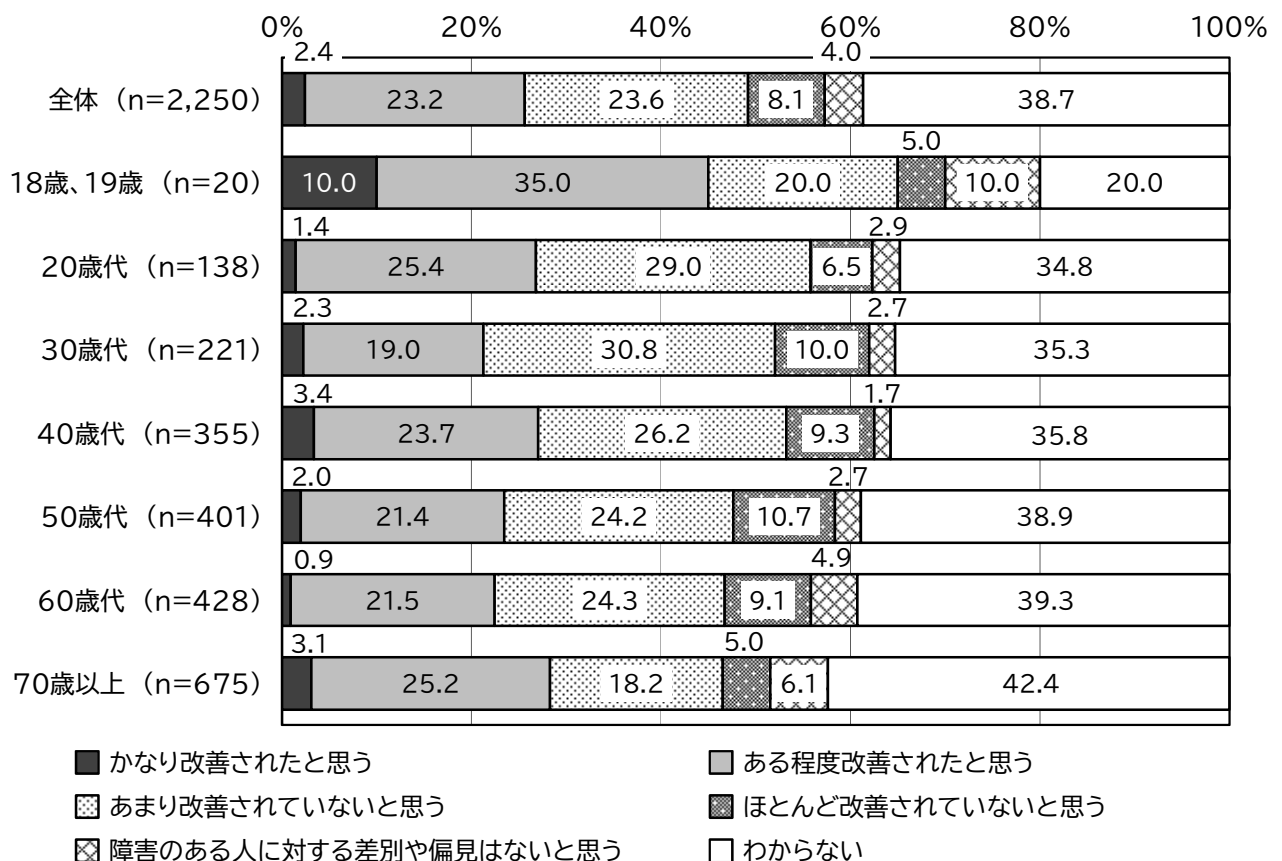
「わからない」と回答した人の割合が38.7%と最も高く、次いで「あまり改善されていないと思う」(23.6%)、「ある程度改善されたと思う」(23.2%)、「ほとんど改善されていないと思う」(8.1%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は「かなり改善されたと思う」「ある程度改善されたと思う」と回答した人を合わせた割合が45.0%と他の年代と比べ高くなっている。

一方、30歳代は「あまり改善されていないと思う」「ほとんど改善されていないと思う」と回答した人を合わせた割合が40.8%と4割を超えている。

20歳代以上で「わからない」と回答した人の割合が最も高くなっており、70歳以上では4割を超えている



問4 1 「障害者差別解消法」の周知をはじめとして、障害のある人への理解を深め、差別や偏見をなくすためにはどうすればよいと思いますか。
(複数回答：n=2,199)

(1) 全体的傾向

「小中学校での授業や体験学習などによる福祉教育の推進」と回答した人の割合が68.8%で最も高く、次いで「広報とよはしや市ホームページなどを活用した情報提供の推進」(37.8%)、「障害を理解し、障害のある人とない人の交流を深めるイベントなどの開催」(36.8%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で「小中学校での授業や体験学習などによる福祉教育の推進」と回答した人の割合が最も高く64.8%~76.6%と6割を超えている。

また、「広報とよはしや市ホームページなどを活用した情報提供の推進」及び「障害者差別解消に関する相談窓口の周知」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど概ね高くなる傾向がみられる。

